

ソフトボール全国大会へ

千厩ソフトボールクラブは春季全日本小学生女子ソフトボール大会(3月27~29日、熊本県菊池市)への出場を決め、2月25日、市役所千厩支所で勝部修市長に全国大会での健闘を誓いました。

千厩小と清田小の女子児童12人の部員からなる同クラブ。昨年11月の県新人大会兼春季全日本大会県予選では、決勝で敗れたものの、県ソフトボール協会の推薦により全国大会出場の切符を手に入れました。村上李夏主将(千厩小5年)が「練習の成果を発揮し主将としてチームが勝利できるよう頑張りたい」と決意を述べると、勝部市長が「大きな声を出すと力がわく。元気良く頑張してほしい」と激励しました。



全国での健闘を誓った選手たち

おめでとうセンバツ出場

第82回選抜高校野球大会に出場を決めた盛岡大学附属高校野球部には、本市出身の3選手が在籍。あこがれの夢舞台目指し、懸命に練習に励んでいます。佐々木雅敏君(外野手)、高藤佑地君(投手)、小野寺優太君(内野手)で、いずれも花泉町出身の2年生です。花泉中時代には県中総体で優勝を経験しています。

同校の関口清治監督が2月22日、市役所本庁を訪問し、勝部市長に3選手の活躍ぶりを報告。勝部市長は「岩手の高校野球は注目されている。応援しているので頑張してほしい」と激励しました。



上 市内出身の選手たち。左から佐々木雅敏君、高藤佑地君、小野寺優太君
左 勝部市長(右)に本市出身選手について説明する関口清治監督

ほっと NEWS

こんなこと
ありました



受賞を喜び笑顔の「キララ」会員や関係者



品質管理の基礎を学んだ市内企業関係者

心の病を理解してほしい

精神障がい者を理解してほしいと活動する「心の病と共に生きる仲間達キララ」が、NPO法人地域精神保健福祉機構が主催する精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)を受賞しました。2月27日、千厩町の酒の蔵交流施設で行われた例会に勝部市長が駆けつけ、受賞を祝福。佐藤永明副代表は「自分を表現できるようになった。心の病を克服し、地域の皆さんと暮らしていきたい」と抱負を述べました。同会は「明るく生きる精神保健シンポジウム」を企画するほか、演劇で精神障がいへの理解を深める活動などを行っています。

ものづくりの人材を育成

市が主催する人材育成事業「品質管理研修」は2月26日から3月6日まで、岩手県南技術研究センターで行われました。グローバル化する経営環境で、市内企業の技術力、経営力を強化してほしいと行っているもので、市内企業17社から25人が参加しました。

講師は市内企業で長く品質管理を担当してきた阿部一幸さん。ものづくりに携わる企業の技術者や品質管理検定の受検予定者が、QC(品質管理)七つ道具の手法の解説、工程改善、抜き取り検査、TQM(総合的品質管理)について、2日間学びました。